



あわら 北潟小

波松小統合2年目

あわら市北潟小の保護者と教員計約80人が鼓笛隊を結成し9日、同校グラウンドで行われた運動会で、隊列を組み演奏を披露した。2015年度末で休校、統合した波松小の保護者と絆を強めようと企画。ほとんどの参加者が演奏初心者の中、約2ヵ月かけ特訓し、堂々としたパフォーマンスで子どもたちを喜ばせた。
(山崎彩)

保護者 鼓笛隊で心一つ

特訓2ヵ月 運動会で演奏

鼓笛隊を編成し演奏で運動会を盛り上げる保護者ら9日、あわら市北潟小

「頑張る姿」子に刺激

鼓笛隊の結成は、波松小が統合されて2年目のことし、保護者の絆を強めるとともに「頑張る姿」を子どもたちに見せようと、PTA会長の赤神貴幸さん(36)が提案。ほぼ全児童の保護者が参加した。

北潟小と波松小の楽器を借り、7月から練習を始めた。曲は「鉄腕アトム」に決めたが、参加者のほとんどは音を出すのがやっと。吹奏楽部の子どもに教わるなどして休日にも猛練習を重ねた。

当日は、指揮者を務める坪田真彦さん(31)を先頭に、トロンボーンやトランペット、鍵盤ハーモニカなどを奏でながら入場。隊列を組み、懸命に演奏する親たちの姿に、児童から大きな拍手と歓声が沸き起こった。赤神さんの次男太輝君

(3年)は「お父さんが良かった」と達成感を一生懸命盛り上げてい口にした。小太鼓で参加して、かっこよかった」とした小坂邦栄校長(59)はうれしそうだった。「親の頑張る姿を見て、赤神さんは「練習を通して子どもたちもどこか誇り」じて保護者の親睦が深まらした」と目を細めた。みんなで演奏できていた。

客送迎 安全へ意識新た

あわら 旅館担当者が受講



温泉旅館の送迎バス運転者を対象にした安全運転講習会=11日、あわら市舟津の芦原温泉旅館協同組合

あわら署は11日、あわら市にある温泉旅館の宿泊客送迎車の運転者を対象にした安全運転講習会を開いた。16人が運転時の危険予測についてあらためて学んだ。7月に同市細呂木で発生した旅館送迎バスの横転事故を受けて開いた。